松代公民館新聞

発行所　松代公民館
編輯兼発行人　館長　佐藤秀雄
毎月三回発行　10日　20日　30日

昭和二十二年度村歳入出豫算

村決算豫算

村監査委員會近く開會か

村当局は昭和二十二年度歳入出決算並に昭和二十三年度上半期の予算使用状況につき関係書類を監査委員に提出、監査を求める段取りとなった模様であるが昭和二十二年度の収支内訳は次のようである

歳入の部

一、村税	九一九、一五六円七三銭
二、基本財産積立金収入	一、一五三、六八
三、使用料及手数料	九六、七一〇
四、国庫支出金	三五九、〇〇〇、五七
五、縣支出金	四六二〇六九、四四
七、寄附金	二七四、四三〇〇〇
八、繰越金	一四、二三八、五三
九、雑収入	二四、三六五、八五
十、転貸金収入	一九、八三六、六四
十一、村債	四六〇、〇〇〇、〇〇
歳入合計	二、一三五、九一五円八〇

差引金　三八、三五二円〇五 ── 昭和二十三年度へ繰越

歳出の部

一、会議費	二六、四三三円〇〇
二、役場費	三三六、九二三、五〇
三、土木費	四八三、二三九、〇〇
四、教育費	三三五、二一〇、五一
五、衛生費	一五、五一三、三五
六、厚生費	三五二、八九五、〇六
七、勧業費	一三〇、一八七、〇四
八、警防費	一九、三〇三、〇〇
九、[illegible]費	一六〇、〇〇
十、選挙費	一〇、一一八、六五
十一、統計諸費	一〇、五七〇、〇〇
十二、財産費	一〇〇、一三一、五〇
十三、[illegible]費	二二八、五三七、五〇
十四、公債費	一九、八五四、二〇
十五、負担金	三三、六六八、七〇
十六、寄附金	三〇〇、〇〇
十七、補助金	七、七〇〇、〇〇
十八、諸費	七六、二一九、三四
歳出合計	二、〇八七、五六三円七五

十日町橋復旧促進協議会結成さる

年々補修工事を重ね辛うじて通行している十日町橋は又々過般の豪雨出水により一部流失信濃川東西の交通を遮断するに至った、此元十日町、千手町村勿論の従来の暫定工事を打切り、この際完全なる十日町橋に架替へするようにと、災害復旧工事として工費全額国庫負担とすることと今回の災害に対する応急処置を速かに施行すること等に関し関係町村長並建業者、運送業者の参集を求め協議会を開催直ちに十日町橋災害復旧促進協議会を結成、事務所を千手町役場におき政府並に縣に対し活発な運動を展開することに決した　而して之が復旧成るまで臨時渡船用解便は貨物の輸送のみならず一般旅客の使用を希ひ、便宜を図り更に交通事故防止に努めることゝなつた

高等学校、松代分校の発足について、

柳　貞　郎(2)

即ち量的方面に於ける教育の普及と質的方面に於ける教育の向上とであって前者即教育の普及は義務教育年限の延長として後者即教育の向上は新制高等学校として制度化されたのである　然らば新制高等学校なるものは如何なる性格を有するものであるか以下項を追うて述べてみる

新制高等学校は高等学校という名称にまどわされて此れ迄の高等学校即ち旧制の高等学校と兎角に混同され易いのであるが旧制高等学校は選ばれたものゝ中から更に選ばれた者の中から少数の者のみに指導者としての教育を施す教育機関であったが　新制高等学校は単に義務教育の次の段階にすぎないものであって此迄の中等学校と同じい立場のものである（事実亦当分の間は従来の中等学校と大差ないものではあろうが）

現在の日本の如く複雑なる社会情勢では単に九ヶ年の義務教育だけでは多くの国民にとって民主的な近代生活を営むための基礎教養を得るに不充分なことは云うまでもないことであって、今日程政治経済、産業、文化が我々の日常生活に直接的な影響を及ぼすことは嘗てなかったしこの傾向は此後とも益々増大されることは論を俟たないことであろう。

我々が国民の代表を選ぶに当り他に制約されずに自分の信ずるものを堂々と選ぶというような教養はもとより、日々の新聞の重要記事の理解さいも九ヶ年の義務教育では不充分なことであろう

青年子女にとっても義務教育終了後の数年は将来の人格を形成する最重要期であり何よりの意欲も強く　この時代の教育の如何が次の社会の機能及び構成に重大なる役割を演ずるものである

この意味において九ヶ年の義務教育の上に進学を希望する全部を収容する事を其の将来の目的として新制高等学校なるものが制度化されたのである　即ち従来の高等学校の如く、ある限られた少数のもののみを教育するのでなく誰でも希望する者全部を教育する立前で新制高等学校なるものが出来たのである。

（以下次号につゞく）

来る十月五日執行の
教育委員の立候補者發表さる

縣選挙管理委員会より本村選挙管理委員会に通知されに縣教育委員会委員候補者は次の通りである旨本月二十五日本村選挙管理委員会より公表された　但し候補者の履歴等について今日公表された旨、

立候補者氏名	職業	住所	生年月日
草間道之輔	農業	刈羽郡中通村大字西三三番	明三三、五、一〇生
工藤清司	公吏、岩船町長	岩船郡岩船町大字八日市八〇	〃四〇、六、一六
高月桂次郎	会社員	長岡市愛宕町一百一五五八	〃三六、八、二三
角張信隆	教員	柏崎市西学校町九四八	〃四〇、四、一六
今山政三郎	〃	新潟市学校町通三番町五二三三	〃二八、八、一〇
滝沢源蔵	農業	中頸城郡柿崎町字三ッ屋浜四七	〃三四、五、一二
加藤時次	無職	中蒲原郡村松町五六三	〃一六、六、九
倉品克一郎	医師	西蒲原郡巻町大字巻甲二六八六	〃三九、六、四
小林力三	海運業	新潟市新潟町通り三ノ町七一八五	〃四〇、八、二四
江間茂	会社員	中頸城郡中郷村大字藤沢九五〇	〃四五、三、一
須田浄彦	〃	新潟市学校町二番町五二七一	大四、一、一〇

投書欄

帝銀事件について、

平沢貞通の百面相も我が検察当局の前には遂に剥がれ、本月二十六日午前零時三十分高木検事の前に自供した　事件当初よりその日迄二百六十余日壱千数万円の経費を要したと云われる　私共は経費などは毛頭驚くものではなく只、彼をして遂に頭を垂れせしめた検察当局と警察各位の不眠不休の努力に対して敬意と深謝の謝意を表すると共にこの大事件解決に協力せる目げき者その他証人に対して其の労を多とするものである　又一方いかに、国民が、警察が民主的な意志の疎通が図られたかを悦ぶと共に銘記すべきものであると思う

今后事件に対し残された問題等幾多あることであろうが我々素人の考へでは只々彼の処刑である

刑法も民法も知らぬ我々がこの重大事件に対しその裁きに口はさむ何ものも持合せがない

而し先般不当財産にからむ西尾国務相の裁きの如きものが若しあるとすればである。

見解の相違、意見の相違法の適用等々我々素人の考への及ばぬ点は数々あるとしても検事は一年六ヶ月の懲役を求刑したにもかかわらず判決は無罪である

但し西尾前国務相を罪にしたいと考へるものではないが、

昭二三、九、二八　山賀主事

今年の出稼（季節工）はどうなる？

（労務者）

新潟公共安定所 安塚出張所 松代連絡委員にきく、

本年度季節出稼のことについては最後にみなさんより登録をお願いした処ですが、縣では去る八月二十三日より三十日まで縣外求人開拓班を組織して関係方面に出張して積極的に開拓をなし、安塚出張所でも文書により従来関係のあった石炭山、紡績工場及びその他に向って昨年通り雇入れを交渉中です。差当り求人の連絡のあったものは役場に通知が来ていますから

関係縁故者は出発月日、氏名を役場を通じて直ちにお申出で下さるよう。

尚石炭、紡績、その他求人者の求人者については安塚より通知あり次第順次お知らせします

尚安塚出張所で縣外開拓班に参加、群馬、埼玉、東京、神奈川に出張した状況は左の通り。

詳細は役場の職業係へ直接にお尋ね下さいませ、

酒造＝各県共前年の縁故者全員を採用したいとの業者の意向なり

製糸＝群馬県内各製糸工場では新潟県人の通年出稼者を多数希望している

土建＝労供禁止の措置、政府事業の直営化及び資金の面より業者は沈滞の状況に在って全般的には季節労務者を欲していない、

運輸＝日通等運輸関係は経済調査庁の設定等により所謂ヤミ物資の輸送困難と貨物運賃の値上げの影響を受けて近来にない貨物の減少を見、例年の如き大量の季節労務を要しないが縁故者の若干を雇入れる

農業＝神奈川県における蜜柑の作況は良好にして昨年以上の労務者を必要とする 群馬県下の農家では勤勉実直の新潟県人の通年出稼者（男女）を欲している

機械器具＝東京都、横浜、川崎市内の機械工場では市内居住者（通勤可能者）以外は雇入不可能、

化学＝横浜市内煉炭工場では季節労務の雇入はまだ決定しないが縁故者は大体受入可能の見込、東京都各製膠工場は縁故者雇入決定

石炭＝山口県及九州方面の石炭山は季節労務雇入は不能なり。

御存じでしょうが

郵便物には必ず配達局名を!!

郵便物がより早く届くためには郵便物に、あて地の配達局名が書かれていることが必要でありますので今后は郵便物に記入する受取人及差出人の住所には必ずその配達局名を書いて下さい。まず

◎書き方は、

◎配達局名は

何都府県 何局区内と書く

但し配達局名と同じ府県名は省略できる

◎配達局名と同じ区町村名は省略できる

（例）

荒川局区内 荒川区日暮里町三

松代局区内 松代村蓮平

◎郡名は全部省略できる

松代村 山平村 仙田村桐山 の配達局は 松代郵便局です

記載例（はがきも同じ）

東京都京橋区内 中央区銀座二ノ三 何某様

新潟縣松代局区内田沢 何某

下山雪中派出教場 分校に昇格

冬期間小学一、二、三、四年生は部落の雪中派出場で、五、六年は小屋丸分校で、新制中学生は松代で義務教育を三箇所で而も下山、小屋丸間は壱里、下山松代間は壱里二十四丁、児童の通学困難と父兄の負担の過重は本村にその類がなかったと共に分場新設は部落民数十年来の宿望であった せめて校舎を新築して村に請願しようと昨秋部落民悲壮の決意を以て三十数万円の資金と一戸平均六十余人の手間を提出して雪中派出場を建築したのが実を結び 而も関係ある池ノ畑、小屋丸両部落の理解ある承認の下、本月十五日の臨時村会に提案、議会一人の反対もなく分場新設は可決され 即刻上司へ許可稟請の手運びとなった これが実現の上は本村の小学校は本校三、分校七、中学校本校一、分校二、高等学校分校一 計十四校 祖国再建は教育からとすれば誠に慶ぶべきものがある

PTAの正しいあり方

正しく健やかな子供達を育てるためには子供達の生活の大部分を占める学校、家庭、それから社会の三つの環境が常に密接な関係を保っていかなければならない。しかし現実にはバラバラである為子供の犯罪や不良化が増加している。学校家庭、社会がたえず連絡しあい子供達の環境を幸福なものに作ろうというのがP.T.Aの組織である

PTAは「父母と先生の会」であるが父兄に限らず教育に熱心な人なら少しも加入してもらい誰か人が組織の中心となって運営するのである。PTAは各学校毎に組織されるが部落の広さや仕事の便宜上本校分校別、まとまりやすいグループで組織して夫々が土地に応じてそれぞれ

PTAで取扱うべき問題は例へば保健問題や社会問題、時事問題など知りたいと思うための講演会や研究会を開いたり、教養、映画をみたり 娯楽会、子供のバザー、等を催したりする その他学校の設備の改善や教師の待遇問題、或は父母と先生との交わりや懇談会や慰安会を催すのもよい。会合は月一回位が適当であるが当地のような農村ではむしろ農閑期を大いに利用した方がよい

こうしていつも父母と先生が密接に連絡していると子供に対する教育の関心も高まり新しい教育法も次第に理解できるようになる。PTAの経費については補助金や寄附金のみにたよるのは民主的でないのでアメリカ等では不用品を持ちよってバザーをするとか、講習会を開いてその収入を資金にするとか PTA主催の映画会、音楽会、講演会などをするまた学校工場等を利用して簡単な手工業製品の製作をすることなどである

PTAの運営が円滑にゆけば、今どこの学校でも困っている設備が充実し、又生活上の理由で勉学に苦しんでいる子供達の世話をしたり相談にのったりすることもできるし子供達の新しい教育について深い関心が払われるようになる また青春期の少年や少女をいろいろな誘惑から防ぐこともできる上に教師の生活も保証されるようになり教師としての自覚と教育の責任が高められ教育の改善がなされるようになる

このように学校を単位にPTAができて市町村毎に、府県毎に連絡をもって大きな固まりとなってひろがり教育の向上、家庭生活の改善、そして大きくは明るい社会の構成と言う方向にまで発展することができる

（をわり）

公民館新聞に寄す

科学農業の考察（下）

関谷友一郎

二万五千立方米のコンクリートの農園、セメント二千万袋、鉄材三〇〇噸、木材三万石、延人員九〇万人 一億円のガラス張りの御殿がこの三十八町歩の化学農園の正体だ。果して持てる国のみが作り得る独専的のものと考へるべきであろうか、食えない国民、食うだけの食物の取れない国民が考へてはならぬ農業であろうか。三分の一の明りで野菜がとれ しかも一度設備が終れば市価の半値以下の農産物を得ることができるといわれる。この農法を我々は夢物語りと聞き流すべきであろうか

水耕部隊長エリオット中佐は言う「日本は今食糧問題に困っているであろう。米を救うために貢献するのがこの仕事の第一目的であって、アメリカが日本農業に対して機会を与へるものであって出来た。清浄野菜を食うそこに対する実験室と

深さ約一尺、長さ約三百尺（面積約一畝歩）の恐ろしく長い水槽を無数に作るわけだ。えんなことは数十里に亘る舗装道路を造る事を考へれば何のことはない。その水槽の中に直径三―五分の川砂利を入れ、水槽に水を満たし砂利に種子を播き付け、又苗を植え、肥料成分たる科学薬品を溶かして入れるのである。この薬液は頭から注ぎかけるのでなく水槽の底からパイプで砂利の表面に近い所まで注入し二、三時間浸透させるのちサッサと次の水槽に移して決して淀みがないことによって植物の根は充分水と養分を吸収し且つ土中にあるより遥かに多くの酸素を吸収することができるよう生育は非常に旺盛となる

移植するとか、日西覆をするとか耕耘土寄せ、除草、病虫害の恐怖、力仕事の一切ない農業、慣れれば女、小供でもできる農業、エリオット中佐の言に在る如くこの水耕農業は我々の農業を考へ直す最もよい機会を与へてくれるのではなかろうか。飯も食べないくせに労力をムダ使ひして、それを恰も勤勉であり我こそは篤農家なりと自称賞讃するの愚を改める時機が近づきつつあるということが出来ると思う。科学、化学、科学こそ何物をも恐れず何物をも解決する。自然も、環境も何もかも、

彼等は着工以来六十日でこの仕事を了したという

偉大なる科学の力を以て……

終り